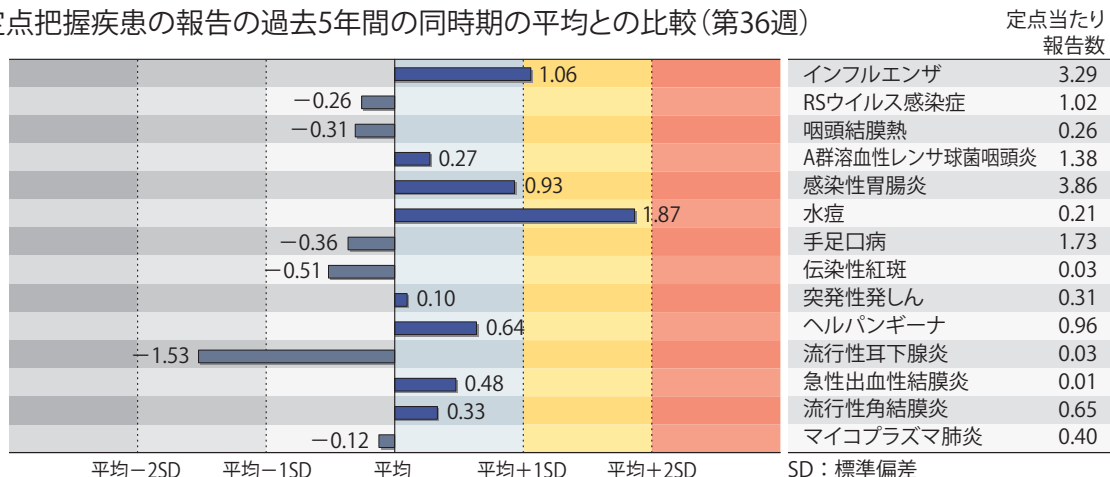


◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により急性呼吸器感染症定点、小児科定点、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です(増減の目安は小数点第3位以下を含む)。2025年第15週より定点数が増えられています。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期の平均との比較(第36週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週間分の平均)との差をグラフ上に表現した。

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数：3,734)

インフルエンザの定点当たり報告数は第26週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は沖縄県(10.34)、新潟県(6.13)、神奈川県(5.87)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は284例と前週と比較して増加した。都道府県別では44都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(8例)、1～9歳(91例)、10代(14例)、20代(6例)、30代(3例)、40代(5例)、50代(12例)、60代(15例)、70代(38例)、80歳以上(92例)であった。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は栃木県(5.64)、新潟県(5.27)、長野県(4.40)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は286例と前週と比較して増加した。都道府県別では42都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(21例)、1～9歳(72例)、10代(9例)、20代(6例)、30代(6例)、40代(6例)、50代(12例)、60代(17例)、70代(43例)、80歳以上(94例)であった。

急性呼吸器感染症(報告定点数：3,718)

定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は埼玉県(73.95)、群馬県(73.22)、岩手県(70.29)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数：2,250)

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は島根県(3.09)、福井県(3.00)、和歌山県(2.37)である。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.97)、島根県(0.91)、福岡県(0.84)である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(4.81)、佐賀県(3.25)、山口県(3.00)である。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は岐阜県(6.56)、大分県(6.53)、群馬県(6.40)である。

水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(1.06)、島根県(0.82)、山形県(0.65)である。

手足口病の定点当たり報告数は第30週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(6.36)、岩手県(6.26)、山形県(4.85)である。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は徳島県(0.19)、新潟県(0.17)、山口県(0.16)である。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(2.64)、岐阜県(2.15)、北海道(1.86)である。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は島根県(0.18)、秋田県(0.15)、奈良県(0.13)である。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は群馬県(1.67)、新潟県(1.38)、福井県(1.33)である。

感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で減少した。2都道府県から3例報告があり、年齢群別では10代(1例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

インフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症の性別・年齢階級別報告数、前週との比較

2026年第36週

	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症		
	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
総数	12299	6234	6065	7777	3908	3869
0～5カ月	41	23	18	97	57	40
6～11カ月	102	55	47	225	126	99
1歳	422	229	193	657	350	307
2歳	467	244	223	536	286	250
3歳	647	332	315	525	259	266
4歳	783	402	381	466	247	219
5歳	815	432	383	425	249	176
6歳	867	468	399	344	194	150
7歳	819	429	390	289	176	113
8歳	720	401	319	242	127	115
9歳	624	296	328	211	131	80
10～14歳	1663	908	755	665	360	305
15～19歳	608	318	290	327	162	165
20～29歳	598	287	311	444	165	279
30～39歳	698	278	420	536	226	310
40～49歳	807	378	429	449	195	254
50～59歳	663	308	355	499	224	275
60～69歳	465	224	241	314	133	181
70～79歳	282	131	151	257	123	134
80歳～	208	91	117	269	118	151

2026年第35週(再掲)

	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症		
	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
総数	6543	3317	3226	5459	2711	2748
0～5カ月	20	8	12	59	26	33
6～11カ月	58	34	24	152	72	80
1歳	259	135	124	600	301	299
2歳	292	165	127	427	226	201
3歳	344	186	158	389	201	188
4歳	391	203	188	319	184	135
5歳	405	195	210	277	164	113
6歳	432	222	210	216	118	98
7歳	364	188	176	148	73	75
8歳	344	189	155	133	68	65
9歳	278	130	148	108	56	52
10～14歳	699	385	314	285	166	119
15～19歳	328	169	159	208	103	105
20～29歳	405	192	213	355	185	170
30～39歳	418	189	229	382	154	228
40～49歳	458	218	240	323	139	184
50～59歳	419	213	206	350	135	215
60～69歳	261	115	146	244	108	136
70～79歳	221	115	106	255	122	133
80歳～	147	66	81	229	110	119

※ 全国の急性呼吸器感染症定点医療機関から届出された、当該週と前週のデータ。前週の届出数は、前週のIDWRで還元したデータ(参照：<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>)の再掲

年末・年始(第52週～第1週頃)、ゴールデンウィーク(第18週頃)、お盆(第33週頃)、シルバーウィーク(第39週頃)等の週では、報告数が減少する傾向があり解釈には注意が必要である。なお、祝日、休日の並び等によって該当する週は年によって異なる。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2026年第36週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週の平均と比較してかなり多いことを示す。

